

[内部取引区分] の設定漏れがないかを確認する方法はありますか？

(画面例はすべて『PCA 公益法人会計 V.12』を使用しています)

【操作手順】

「データ入力」－「仕訳検索修正」にて確認してください。

[会計区分] ボタンをクリックして [指定なし (全会計)] を選択し、[内部取引区分] 欄にて [設定なし] のみを選択します。[内部取引区分] の設定漏れがないかを確認したい主科目を選択し、[実行] ボタンをクリックしてください。

仕訳検索修正 - [全会計]

伝票日付
平成 27 年 4 月 1 日 ~ 平成 28 年 3 月 31 日

実行

入力日付
平成 26 年 2 月 18 日 ~ 平成 27 年 2 月 18 日

キャンセル

伝票番号
00001 ~ 99999

会計区分

終了

付箋
 7セ付き仕訳のみ出力

入力指定
すべての入力

内部取引区分
 会計間取引 事業間取引 事業間(グループ内)取引 設定なし

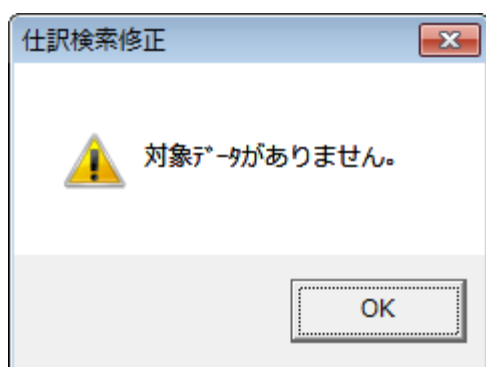
主科目
172 他会計へ振替

事業
指定なし

摘要

数字
金額
-999999999999 ~ 999999999999

[内部取引区分] の設定漏れの仕訳がなければ、[対象データがありません。] と表示されます。

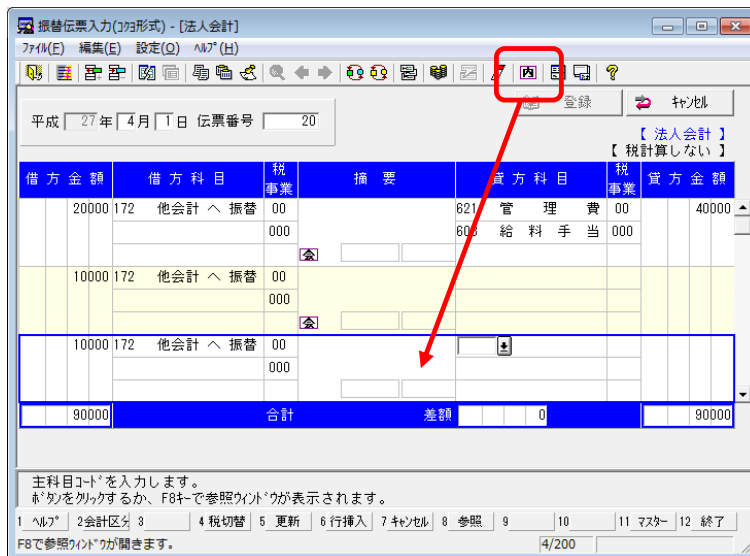


【内部取引区分】の設定漏れの仕訳があると、以下のように表示されます。



【操作手順】

- ① 該当の仕訳をダブルクリックします。
- ② 「振替伝票入力」画面が表示されますので、ツールボタンの [内] をクリックし、【内部取引区分】を設定したい仕訳行をクリックします。



- ③ 【内部取引仕訳】画面が表示されますので、設定したい内部取引を選択して [OK] ボタンをクリックし、伝票を登録します。

